

# 第1回次世代モビリティサービスの在り方に関する検討会について

## 取組方針

5年、10年先の状況を見据えつつ、移動や交通に係る様々な地域課題に対応するため、交通事業者等関係機関と共に、先端技術の活用した次世代モビリティの在り方を検討。

## 1. 第1回次世代モビリティサービスの在り方に関する検討会

日時：令和元年9月5日(木) 10:00~12:00

場所：県庁本館1階 12会議室

次第：①開会

②委員長、副委員長選任

③次世代モビリティサービスの現状と課題について

④交通事業者の現状と課題について

⑤意見交換

## 2. 在り方検討会委員

地元交通事業者や地域の代表を委員とし、市町村や有識者からも話を聞きながら会議を進めていく

区分	組織	氏名
交通事業者	(一社)大分県タクシー協会	会長 漢 二美
	(一社)大分県バス協会	会長 杉原 正晴
	九州旅客鉄道(株) 大分支社	支社長 貞苺 路也
地域代表	(公財)ツーリズムおおいた	会長 幸重 綱二
	(社福)シンフォニー	理事長 村上 和子
技術提供者	(公財)ハイパーネットワーク社会研究所	所長 青木 栄二
学識者	日本文理大学工学部	教授 吉村 充功
地方公共団体	大分県 商工観光労働部	部長 高濱 航

## 3. テーマ別実証実験の実施

想定される実証テーマ

### 例1 観光地域、大規模イベント施設アクセス対策

・AI等技術による観光地域における周遊の活性化や、大規模施設へのアクセス円滑化

### 例2 高齢者の移動手段の確保

・高齢者の移動手段確保のためのAIオンデマンドバスの運行

### 例3 企業間の連携促進

・複数の施設での運行サービスの効率化

※介護と病院で別々に行っている送迎等移動に係るサービスのAI等技術による統合

(問合せ先)  
工業振興課 小谷・小野  
電話:097-506-3267